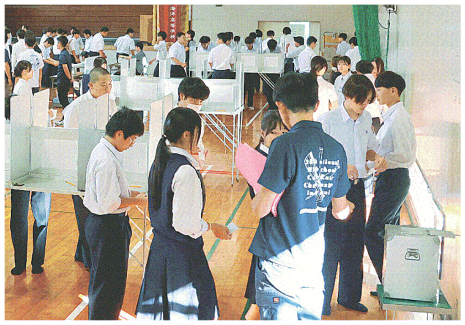
(c)宮崎日日新聞社



実際の選挙で使用する記載台などを使って行われた模擬選挙

選挙への関心高めて

宮崎市 海洋高で大学生講座

宮崎市の宮崎海洋高（岡部賢志校長、208人）で、選挙に関する出前講座があった。全学年の約180人が参加し、講師を務めた市内の大学生らとの交流を通じて選挙への関心を高めた。

市選管が主催し、27日に行った。講師は宮崎大、宮崎公立大、宮崎産業経営大の学生でつくる選挙啓発団体「ボイスラボ」の9人。生徒たちは選挙に関する基礎知識の講義を受けた後、生徒会選挙を想定した模擬選挙を体験。演説や公約を比べ、投票から集計までの流れを学んだ。実際の選挙で使う記載台や投票箱などが使われた。

3年の綿島真叶さん(18)は「普段の学校生活で行われる選挙と雰囲気が違った。実際の選挙の予行練習になった」と話していた。（竹内夏海）